

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		下肢筋力の低下から立ち上がりや歩行するときふらつきが見られる。転倒事故への危険性がある。	事故を防止し歩行力の維持を行う	下肢筋肉強化の体操を取り入れる。又立ち上がりの見守りや歩行時の手引き介助。	6ヶ月
2		食事中の手遊びや食事を混ぜたり食事に集中できない。又あまり咀嚼しないで食べるので誤嚥しやすい。	摂食行為がスムーズに出来るように食事の見守り・声かけを行う	摂食への声かけ・指示・見守り・咀嚼の観察 嚥下体操の実施	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。